

令和7年1月 定例教育委員会々議録

1 日 時 令和7年1月28日(火) 午後2時00分～

2 定例教育委員会

開催場所 会議室301

3 出席委員の氏名

教 育 長	小 林 靖 直	教育長職務代理者	中 野 信 男
委 員	斎 藤 純 郎	委 員	小 林 恵 子
委 員	上 田 佳 澄	委 員	渡 邊 愛

4 説明のため出席した職員

教 育 次 長	岡 部 清 美	主 幹	大 森 亨
学校教育課長	長 和 俊	社会教育課長	石 黒 昭 彦
統括指導主事	関 根 幸 子		

5 本委員会書記

学 校 教 育 課 藤 野 聡 他 2 名

6 傍聴人

なし

7 会議に付議した事件

会議録の承認

諸報告

- (1) 行事報告及び行事予定
- (2) 教育長報告
- (3) 寄附報告

専決処分の報告について

報告第12号 共催・後援の教育長専決報告について

議 案

議案第49号 燕市立学校の学校区に関する規則の一部改正について

その他

- (1) 令和6年度燕市学校給食喫食量調査について
- (2) 令和7年第1回燕市議会臨時会（教育委員会関係抜粋）
 - 1) 令和6年度燕市一般会計補正予算（第8号）

8 閉 会
会議録

別紙のとおり

1 開 会 宣 言

午後 2 時 00 分～

2 会議録の承認

全員異議なく、令和 6 年 12 月定例教育委員会々議録は承認された。

3 諸報告

(1) 行事報告及び行事予定

〈各課長が報告〉

○委員（斎藤 純郎）

1 月 17 日の教育委員視察に参加し、つばめみなみ児童クラブを視察させていただいた。令和 4 年度になかまの会から児童クラブに変わり、きれいに整備された施設の中で児童の皆さんが活発に活動されている様子を見ることができ嬉しく思った。現在の定員は 55 名程度であるが、利用希望者が増えていると伺ったので、可能であれば新年度に予算化していただき、児童クラブの増設をお願いしたいと思う。

また、同日に開催された燕の学校教育・研究成果等報告会では、地域と連携した各学校の取組やつばめキッズファーム事業の取組などを拝見し、各学校は日頃、地域の皆さんやボランティアの皆さんにたくさん支えられているのだということを実感した。

○委員（小林 恵子）

教育委員視察で燕南小学校の国語の授業を見させていただき、生活言語を育てるためには、国語の授業が一番有用だと感じた。拝見した授業は、二字熟語を訓読みして、その意味を子どもたちに推測してもらうというものであった。

例えば「加入」という熟語は、「加わる」と「入る」から成り立つが、熟語になることで、「部屋に入る」とは違い「団体や組織に入ること」という意味を持つ。しかし、そのニュアンスが授業の中で子どもたちに本当に伝わったのかが心配になった。また、「強弱」という熟語（名詞）の意味について、子どもたちは「強いと弱い」と形容詞で回答していた。子どもたちが引いた辞書には「強いことと弱いこと」と名詞で意味が書かれていたが、授業ではその違いに触れられず残念だった。

生活言語を育てるためには、国語の授業が要になると再認識した。

○委員（中野 信男）

教育委員視察で燕南小学校の図工の授業を見させていただいた。すごろくを作る授業だったが、どのようなすごろくにしたいのかを子どもたちが自分で企画をして、順を追って作りたいものを形にする、という内容であった。これからは、人に言われたことをやるだけでなく、自分で考えてやる力が必要になってくる。その力をつけるためにとても良い授業だと思った。

第18回良寛書道展も見させていただいたが、歴史ある書道展であることもあり、皆さんが一生懸命に書を書かれていることが感じられ、とても良い催しだと思った。また、表彰式後の評価者の説明はとてもためになるものだった。例えば、書初め用紙に文字を書いた後、遠くから全体を見てみると、きれいに見える書は文字が一直線になっている。また、「国」という字は「くにがまえ」を太く書きすぎると中が詰まってしまい、のびのびとした文字にならない。「くにがまえ」の中の三本線を並行に書くと、文字全体が左に傾いて見えるため、三本目の横棒の止めに重みを持たせるとバランスの良い字になる。など、この説明を聞いただけで、以前よりも文字が上手く書けるような気がした。子どもたちによい教育をするためには、やはりよい指導者が大事であると実感した。

○委員（小林 恵子）

良寛書道展を見させていただいたが、もう少し上の賞でもよいのでは、と思うような書があった。全ての賞が決まった後にもう一度全体を見直すなど、ぜひ審査の方法を検討していただきたい。

○学校教育課長（長 和俊）

教育委員視察について、具体的に授業を見ていただき感謝する。ご指摘いただいたところは学校にも伝え改善していきたい。

○社会教育課長（石黒 昭彦）

良寛書道展についてご提案をいただき感謝する。審査や運営に協力いただいている燕市美術協会に伝え、審査方法等を検討していきたい。

（2）教育長報告

〈小林教育長が以下のとおり報告〉

1）はじめに

- 本年もよろしくお願いいたします。○ 乙巳（きのとみ）。成長と結実の時期となる可能性が高い年、とある記事を拝見した。子どもたち、子どもたちの成長にかかわるすべてのみなさまにとって、健康で、実り多い一年であることを願っている。

2）小中学校、3学期スタート

- 50日をきった今年度の授業日。一年間のまとめ及び次年度へのステップ期間として位置づけ、子どもたち、そして、教職員の姿のゴールイメージを明確にし、有意義な3学期になるよう指導支援していく。

3）1月（第3週まで）の行事から

- ① 「燕市スポーツ大使」任命式（アオーレ長岡）【1月11日（土）】

燕市出身でバスケットボールB3リーグの新潟アルビレックスBB所属の池田雄一

選手を「燕市スポーツ大使」に任命する任命式に参加した。4人目の「燕市スポーツ大使」である。子どもたちや市民のみなさまに、こらからも勇気や元気をたくさん与えてくださることと期待している。

② 理科講演会（吉田中学校）【1月16日（木）】

講師は、群馬大学共同教育学部教授の栗原淳一先生。「生徒が自ら問いを持ち、学びを深める授業」というテーマで、2年生を対象に授業していただき、その後、ご講演いただいた。最新の理科教育の動向を含め、自ら「問い」を持ち、主体的に学ぶ子どもたちの姿について、わかりやすく示していただいた。それぞれの学校、教室で生かし、いっそう子どもたちの学びの質を高めてくれるようお願いした。

③ 燕の学校教育・研修成果等報告会（文化会館）【1月17日（金）】

読解力育成プロジェクト、STEAM教育をはじめ、各取組の成果報告を行った。成果や課題を整理し、各取組のさらなる充実を目指していく。全国学力・学習状況調査等で明らかになった「非認知能力」の向上も含め、燕の教育のよさをさらに発信し、共有していく。

4) 結びに

- インフルエンザの流行による欠席者の増加や学級閉鎖等の報告が多くなってきた。健康で充実した日々が送れるよう願っている。

受験生には、体調を整え、持てる力を存分に発揮することができるよう、心からエールを送る。

○委員（中野 信男）

教育長報告の③にある「非認知能力」というのは、どういうものをいうのか教えていただきたい。

○教育長（小林 靖直）

学習に向かう力、意欲、協調性や困難に向かう力など数値で測りにくい力である。地域のために何かをしたい、学校が好きである、友人関係に恵まれている、というような状況調査からわかる肯定的な数値が、燕市では全国や県を超えているものが8割近くあり、子どもたちが学校生活に満足している状況にあると考えている。

○委員（中野 信男）

辞書で調べたところ「好奇心」や「頑張る力」、「コミュニケーション能力」、「誠実さ」ということが書かれていたがそのようなことも含まれているのか。

○教育長（小林 靖直）

そのようなことも含まれている。

(3) 寄附報告

1 件の寄附について

〈No. 1 について石黒社会教育課長が説明〉

4 専決処分の報告について

報告第 12 号 共催・後援の教育長専決報告について

2 件の共催・後援申請について

〈No. 1、2 について長学校教育課長が説明〉

5 議 案

議案第 49 号 燕市立学校の学区に関する規則の一部改正について

〈長学校教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第 49 号は原案どおり議決された。

6 その他

(1) 令和 6 年度燕市学校給食喫食量調査について

〈長学校教育課長が説明〉

○委員（小林 恵子）

給食を残した理由として「苦手なものがあったから」という回答が 1 番多かったとのことだが、もし可能であれば「具体的に何が苦手だったのか」までデータを収集できれば良いと思う。

また、18・19 ページで給食センター別にアンケート結果を示されているが、それ以前のページでは、東部も西部も全てまとめた形で結果を示している。全ての結果を給食センター別に分けることは難しいのか。東部と西部で学校ごとの対応に違いがあると思うので、調査結果を分けることで色々と分析ができ、喫食率を高めていくための手立てに繋がるのではないかと思います。

○学校教育課長（長 和俊）

次に繋がるようアンケートの内容や方法について検討していきたい。

○委員（斎藤 純郎）

「給食をクラスで配り切った量が自分の適量であることを知っていましたか？」の質問に対して、「はい」と回答した割合が 70%弱だったとのことだが、盛り残しがあった際は、先生方には児童生徒へ「適量」について指導していただきたい。

先般、西部学校給食センターを視察させていただき、栄養士や栄養教諭の皆さんが限られた食材費の中で工夫をして献立を練られ、給食を作ってくださっていたので、今後も食育推進をしっかりと図って行っていただきたい。

○委員（上田 佳澄）

喫食量調査の対象に燕中等教育学校の2年生が含まれているのに対し、アンケート調査には含まれていないのは何か理由があるのか。

○学校教育課長（長 和俊）

フォームで回答を求めており、燕中等教育学校はセキュリティの関係でアンケートを取ることができなかった。次回の調査では燕中等教育学校も対象にできるよう方法を検討していきたい。

（2）令和7年第1回燕市議会臨時会（教育委員会関係抜粋）

1）令和6年度燕市一般会計補正予算（第8号）

〈石黒社会教育課長が説明〉

7 閉 会 午後2時41分

燕市教育委員会会議規則(平成 18 年燕市教育委員会規則第 2 号) 第 17 条第 2 項の規定により会議録に署名する。

令和 7 年 2 月 19 日

教 育 長 小林靖直

教 育 委 員 中野信男

教 育 委 員 斎藤純郎

教 育 委 員 小林恵子

教 育 委 員 上田 佳澄

教 育 委 員 渡邊 愛

会議録作成職員 斎藤 千華